

JCMA 報告

平成 28 年度 建設機械施工技術検定試験 結果報告

試験部

1. はじめに

建設機械施工技術検定試験は、建設工事の機械施工に従事する技術者の技術の向上を図ることを目的として行われ、建設業法第 27 条に定める技術検定制度に基づいて、国土交通大臣指定試験機関として当協会が実施している。

この試験は、建設機械運転技術者の操作技能のみを対象とするものではなく、建設工事の機械化施工に必要な土木技術、建設機械の管理技術、さらに、こうした技術の熟練度と応用力を兼ね備えた施工技術を対象としている。さらに 1 級（工事現場における建設機械運転技術者の指導監督的な職務に従事する者を対象）及び 2 級（主として熟練度の高い技術者を対象）に分けて試験が行われる。

原則、学科試験の合格者について実地試験を行い、それに合格すると、所定の手続きにより国土交通大臣から建設機械施工技術検定合格証明書が交付され、「1 級又は 2 級建設機械施工技士」と称することが認められるとともに、建設業の許可に必要な有資格者となり、なおかつ、施工現場における監理技術者（1 級に限る）又は主任技術者（1 級・2 級）としての資格が与えられる。

2. 試験実施状況

平成 28 年度については、6 月 19 日（日）に学科試験（全国 10 地区 10 会場）、8 月 20 日（土）から 9 月 10 日（土）の間に実地試験（全国 10 地区 13 会場）を行い、11 月 18 日（金）に実地試験の合格発表を行った。

全国での学科試験及び実地試験の 1 級と 2 級の受検者と合格者等は、表 1 のとおりである。

(1) 学科試験結果

1 級の学科試験は、土木工学、建設機械原動機、石油燃料、潤滑剤、建設機械、建設機械施工法、法規について一般的な知識を問う択一式と記述式による試験

表 1 学科試験及び実地試験の合格状況

| 級別 | 試験区分 | | 1 級 | 2 級 |
|--------|---------|--------|-------|-------|
| | 学科試験 | 受検者（人） | | 3,372 |
| 合格者（人） | | | 1,051 | 4,843 |
| 合格率（%） | | | 31.2 | 56.8 |
| 実地試験 | 受検者*（人） | | 1,161 | 5,040 |
| | 合格者（人） | | 1,008 | 4,431 |
| | 合格率（%） | | 86.8 | 87.9 |

注) ※印の受検者には、学科試験免除者のうち、実地試験の受検申請をした者の人数を含む。

「2 級」の人数は、2 種別受検した者を 2 人と計算した場合の延べ人数である。

を行う。

2 級の学科試験は、各種別の建設機械について、それぞれ土木工学、建設機械原動機、石油燃料、潤滑剤、建設機械、建設機械施工法、法規についての概略の知識及び一般的な知識を問う択一式による試験を行う。試験種別は下記のように、第 1 種から第 6 種に細分している。

- ・第 1 種；トラクター系建設機械・施工法
- ・第 2 種；ショベル系建設機械・施工法
- ・第 3 種；モーター・グレーダー・施工法
- ・第 4 種；締め固め建設機械・施工法
- ・第 5 種；ほ装用建設機械・施工法
- ・第 6 種；基礎工用建設機械・施工法

2 級の学科試験の種別ごとの受検者及び合格者（延べ人数）の内訳は、表 2 のとおりである。

表 2 種別ごとの 2 級の学科試験結果

| 区分 | 受検者数(人) | 合格者数(人) | 合格率 (%) |
|-------|---------|---------|---------|
| 第 1 種 | 967 | 510 | 52.7 |
| 第 2 種 | 6,537 | 3,897 | 59.6 |
| 第 3 種 | 169 | 74 | 43.8 |
| 第 4 種 | 643 | 273 | 42.5 |
| 第 5 種 | 125 | 55 | 44.0 |
| 第 6 種 | 81 | 34 | 42.0 |
| 合計 | 8,522 | 4,843 | 56.8 |

表一 3 受検資格（学歴）別ごとの実地試験結果

| 受検資格区分 (学歴) | 1 級 | | 2 級 | |
|------------------|--------------|--------------|----------------|----------------|
| | 受検者 | 合格者 | 受検者 | 合格者 |
| 大学（高度専門士含む） | 184 人（15.9%） | 150 人（14.9%） | 311 人（6.7%） | 245 人（5.9%） |
| 短大，高等専門学校（専門士含む） | 53 人（4.6%） | 44 人（4.4%） | 111 人（2.4%） | 97 人（2.4%） |
| 高等学校，専門学校 | 653 人（56.2%） | 575 人（57.0%） | 2,442 人（52.9%） | 2,196 人（53.2%） |
| 上記以外 | 271 人（23.3%） | 239 人（23.7%） | 1,751 人（38.0%） | 1,590 人（38.5%） |
| 合計 | 1,161 人 | 1,008 人 | 4,615 人 | 4,128 人 |

注：（ ）内は全体の人数に占める割合の百分率を示す。
2 級で 2 つの種別を受検する場合でも，1 人として数える実人数で示す。

(2) 実地試験結果

1 級の実地試験は，記述式試験（「建設機械組合せ施工法」）と実技試験を行う。

記述試験は，学科試験と同日（6 月 19 日（日））に実施し，実技試験は，上記の 2 級の第 1 種から第 6 種の建設機械操作施工法より 2 科目を選択し，所定のコース内での操作施工による試験を行う。

2 級の実地試験は，上記の 6 種別の内から受検種別ごとに，所定のコース内での操作施工による試験を行う。

資格（学歴）別ごとの 1 級・2 級の実地試験の結果を表一 3 に示す。

また，2 級の実地試験の種別ごとの受検者及び合格者数（延べ人数）の内訳は，表一 4 のとおりである。

【参考】（平成 29 年度 1 級・2 級建設機械施工技術検定試験の予定）

- ・受検申込用紙等の販売：
平成 29 年 2 月 1 日（水）から 4 月 3 日（月）まで
- ・受検申込の受付：
平成 29 年 3 月 3 日（金）から 4 月 3 日（月）まで
- ・学科試験：
平成 29 年 6 月 18 日（日）
- ・実地試験：
平成 29 年 8 月下旬から 9 月中旬
これらのスケジュールは予定であり，確定次第，当協会のホームページに掲載する。

JCMIA

表一 4 種別ごとの 2 級の実地試験結果

| 区分 | 受検者数(人) | 合格者数(人) | 合格率 (%) |
|-------|---------|---------|---------|
| 第 1 種 | 508 | 412 | 81.1 |
| 第 2 種 | 4,084 | 3,623 | 88.7 |
| 第 3 種 | 74 | 62 | 83.8 |
| 第 4 種 | 282 | 246 | 87.2 |
| 第 5 種 | 56 | 52 | 92.9 |
| 第 6 種 | 36 | 36 | 100.0 |
| 合 計 | 5,040 | 4,431 | 87.9 |